

mRNAワクチンの罪と罰

～有害な遺伝子製剤の即時中止を求める理由～

第7回 小金井市政を見える化する会(研修会)

講師 村上 康文

東京理科大学名誉教授

mRNAワクチン中止を求める国民連合 副代表

司会 藤川 賢治

小金井市議会議員

小金井市政を見える化する会 代表



講師プロフィール:村上 康文(むらかみ やすふみ)

1955年生まれ。

東京理科大学名誉教授

専門は創薬科学、分子生物学、免疫医学

東京大学大学院薬学系研究科博士課程修了(薬学博士)

mRNAワクチン中止を求める国民連合 副代表

診断用抗体・治療用抗体の分野において
世界トップレベルの実績を持つ



司会プロフィール:藤川 賢治(ふじかわ けんじ)

1970年9月4日生まれ。福岡県出身

小金井市議会議員

小金井市政を見える化する会代表

元 情報通信研究機構(NICT)主任研究員

元 京都大学大学院情報学研究科助教(情報学博士)

小金井囲碁連盟監事・小平ジャグリング倶楽部副代表



日本では、「mRNAワクチンは安全」という非科学的な報道が、まだ続いている。
だが、それは事実を客観的に見ず、誤った知見に基づいた“天動説”に類するものだ。

「mRNAワクチンの罪と罰 有害な遺伝子製剤の即時中止を求める理由」より

会場: JR武蔵小金井駅 小金井 宮地楽器ホール 1階 小ホール

日時: 令和7年10月16日(木)

14:45 開場

15:00 藤川賢治 議会活動報告会(無料)

17:00 村上康文 講演(参加費1,000円、18歳未満無料)

19:00 終演



左側のQRコードを讀込むかブラウザ(Safari、Chrome、Edge)に
fujikawa.org/07と直接入力してお申込み下さい。

お問合せ「小金井市政を見える化する会・藤川」070-2657-3418

お申込みフォームURL: <https://fujikawa.org/07>



「こがねい市議会だより 令和7年第2回定例会」より

小金井市政を見える化する会 議会活動報告

令和7年度一般会計
補正予算(第2回)

予算の概要は一面に掲載しています。

【反対討論】

藤川賢治(見える化)

本案には市民の生活のための大変重要な項目が含まれ、反対討論をするのは心苦しいが、それでも反対せざるを得ない。

問題は、新型インフルエンザ等対策行動計画等策定支援委託料430万円で、これは国の「新型インフルエンザ等対策政府行動計画」の改訂に伴うものとして計上されている。新型コロナ対策が基本的に上手いといった認識の下、その改訂版を国が示し、それを受け地方自治体版として改訂するものである。

しかし、米国議会ではコロナ対策の総括をし、対策が間違っていたという報告書が出ており、ホワイトハウスのホームページでも掲載されている。ロックダウンは害の方が大きかった、マスクが有効という科学的根拠はなかった、コロナワクチンは感染拡大を防がないなどである。市民の生活を苦しめた新型コロナ対策を総括せずに続けていくことになる本案に反対する。

自棄などのコロナ対策を未だに想定した計画書を改訂する補正予算案に反対。

意見書・決議の審議結果

※ 可決された意見書は、国等への関係機関に送付しました。

件名	要旨(提案議員が作成)	賛成	反対	退席	議長(原則、採決には加わらず)	議決結果
mRNA型を含む遺伝子製剤をワクチンとして承認するにあたり、十分な年月をかけた検証を求める意見書	mRNA型ワクチンは遺伝子製剤であり、医薬品規制調和国際会議(ICH)のガイドラインには自己複製性や体外への排出(シェディング)の検証が不可欠であると記されている。十分な年月をかけて検証することを求める。	○	×	△	議長	否決

その一方で...



米国ではコロナワクチンによる被害を急ピッチで認め始めている。



▲動画は上記QRコードから▲

他にも「藤川賢治 YouTubeチャンネル」で情報を発信中!

国にワクチンを遺伝子製剤なみの検証をさせる意見書提出を目指すものの否決。

コロナワクチンで桁違いの健康被害。即時中止を

藤川賢治(見える化)

①市の予防接種健康被害救済制度に基づく申請数と認定数について。(ア)新型コロナワクチンでの本制度に基づく申請数と認定数は、インフルエンザワクチンの報告は無し。
②市の副反応疑い報告について。(ア)新型コロナワクチンでの副反応疑い報告数と、うち重篤数。(イ)HPVワクチン及びインフルエンザワクチン

●ワクチン副反応疑い報告数

	報告数(うち重篤)	接種回数	100万人あたり報告数
新型コロナ	60(11)	41万9000	143(26)
子宮頸がん	2(1)	9000	222(111)
インフル			6(1)

※小金井市の回答を基に作成
※インフルエンザに関し小金井市に報告は無いので100万人あたり報告数は国の統計による

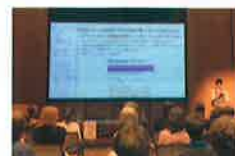
過去の小金井市政を見える化する会 活動内容



第6回 小金井市政を見える化する会(研修会) 2025/08/01(金)
薬に頼らない生き方・考え方

内海 聡 医師 薬害専門家 無所属連合代表 × 藤川 賢治

現代医療を根本から問い直し「薬に頼らない生き方」のための視点が多角的に示されました。病名は本質を覆い隠すラベルに過ぎず、心身全体を見つめて原因を探る「根本療法」の重要性、「誰もが何かに依存している」という観点などが強調されました。また栄養学や医療制度が整っていないにも関わらず、先住民には生活習慣病や発達障害といった現代病が見られないという一般には知られていない視点も提示され、健康の本質を見直すきっかけが示されました。



第5回 小金井市政を見える化する会(活動報告会) 2025/06/27(金)

新型コロナワクチンは逆効果だった? ~ 小金井市ほか各自治体の接種回数別死亡率を開示データから解析 ~

藤川 賢治



第4回 小金井市政を見える化する会(研修会) 2025/05/09(金)

「子宮頸がんワクチン射つのは おやめなさい」~ ワクチン被害の実態・歴史・論文・データから語る ~

池田 としえ 全国子宮頸がんワクチン(HPV)被害者連絡会・事務局長 × 藤川 賢治

池田としえさんに、子宮頸がんワクチンを少女が接種し、体が思うように動かさず痛くて学校に通えないなど、被害が続出している実態を語って頂きました。涙無しでは語れません。何とワクチンを射たせる計画は2009年の新型インフルエンザの時からずっと続いてきたのだと豊富な資料でお話頂きました。参加された市民の皆様から、時間が足りない、もっと聞きたいという声を多く頂きました。

